

# 一般質問発言通告書

発言順位 12番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和 元年 11月 26日

三島市議会議長 大房 正治 様

三島市議会議員 22 番 川原 章寛



質問事項 1	住み慣れた地域で自立して自分らしく暮らし続ける事が出来る福祉の拡充を！
具体的内容	
平成12年に介護保険制度が導入され、20年が経過しようとしています。制度を維持する為、これまでに5回の法改正がされ、予防重視型システムへの転換、施設介護から在宅介護への移行等、見直しがされてきました。そのような中、団塊の世代と言われます先輩諸氏が後期高齢者に、75歳を迎えられる2025年問題を控え、支援施策や体制の強化等が求められています。そこで、年を重ねても住み慣れた地域で自立して自分らしく暮らし続ける事が出来る福祉の拡充に向けまして、下記の通り伺います。	
1、法改正や地域包括ケアの考え方を踏まえ、今後の高齢者福祉の方向性と致しまして、拠点施設やサービス提供体制のあるべき姿につきまして、どのようにお考えでしょうか。	
2、街中ほっとサロン・老人福祉センター・北上高齢者すこやかセンターの利用実態につきまして、どのように認識されているのでしょうか。	
3、街中ほっとサロン・老人福祉センター・北上高齢者すこやかセンターの発展的解消に向けた取組を推進すべきと考えますが、如何でしょうか。	
4、徒歩圏内におけます地域の居場所づくりの現状と課題につきまして、どのように認識されているのでしょうか。	
5、徒歩圏内におけます地域の居場所づくりの拡大及び活動の継続・活性化に向けまして、助成制度を拡充すべきと考えますが、如何でしょうか。	
6、介護予防・日常生活支援総合事業におけますサービス提供の実態と課題につきまして、どのように認識されているのでしょうか。	
7、介護予防・生活支援サービス事業のうち、訪問型サービスA・Bの事業展開及び提供体制の確立・強化に向けまして、地域の担い手育成が必要と考えますが、如何でしょうか。	
8、通所・訪問・通院によりますリハビリテーションに関します在宅サービス等の提供状況と課題につきまして、どのように認識されているのでしょうか。	
9、三島駅南口東街区再開発事業におけます医療機能の導入を含めまして、リハビリテーションの受け皿拡充を検討すべきと考えますが、如何でしょうか。	
以上	